

## 大阪医科薬科大学(後期) 英語

2025年3月10日実施

### 問題 I

- (1) Climate quitting とは、自らの所属する会社が気候に及ぼす影響を懸念して、あるいは気候問題に対処する仕事に直接携わりたいという思いから離職することを意味する。
- (2) ① ク                      ② カ                      ③ コ                      ④ キ                      ⑤ ケ
- (3) エ
- (4) (1) ア                      (2) エ                      (3) イ                      (4) ウ

### 問題 II

- (1) 今日地球上で話されているおよそ 6700 の言語のうち、約 40 パーセントが絶滅に極めて近い状況にある。
- (2) ① ソ                      ② イ                      ③ ケ                      ④ ス                      ⑤ コ
- (3) あなたはホストファミリーと生活し、地元の料理を食べ、日々の活動に参加することによって、その文化的文脈の内部で、言語に関する知見を得ることになるのだ。

#### 【別解】

現地で受け入れてくれる家族と共に暮らし、地元料理を食べ、日々の営みに加わることで、旅行者は、言語が使用される文化的文脈に浸りながら、その言語がどのようなものであるか理解するのだ。

- (4) ⑥ ソ                      ⑦ オ                      ⑧ シ                      ⑨ サ                      ⑩ セ
- (5) イ
- (6) (B) travel choices can contribute to preserving  
(C) others to consider their travel choices

### 問題 III

- (1) In 1800, less than two percent of the world's population lived in cities.

#### 【別解】

In the year 1800, less than 2% of the world's population lived in cities.

- (2) However, a 2016 survey found that 512 cities had more than one million residents, including 45 cities with over five million residents.

#### 【別解】

However, a survey conducted in 2016 found that there were 512 cities with populations exceeding one million, and among them, 45 cities had populations of over five million.

- (3) This indicates a fundamental shift, where more and more people are choosing to live in cities.

#### 【別解】

This means an essential change, with more people increasingly living in urban areas.

<解説> [以下の構造説明においては、   が S、   が V、   が O、   が C を表す]

**I** 長文総合

1. [下線部和訳]

(あ) 和訳すべき 1 文の構造を確認する。

Climate quitting means [leaving your job <due to concerns about your company's impact on the climate> or <because you want to work <directly> <on [addressing climate issues]>>].

s
v
o

s'
v'
[V]
[O]

構造として特に難しいところはない。“due to~”と“because~”という2つの副詞要素が or によって並列されていることに注意して、「何を理由に仕事を辞めることを言っているのか」がわかるように日本語を構成すればよい。

2. [要約英文完成問題]

要約英文とその和訳は以下の通り。

The second and the third paragraphs of the passage can be summarized as:

Oil and gas companies are **struggling** to attract new talent because their reputation has been damaged amid the growing climate crisis. Many young people are **leaving** their jobs due to climate concerns. In the UK, about half of Generation Z **workers** have left jobs due to climate concerns, and 48% of people aged 18-41 would accept a **reduced** salary to work for companies that align with their sustainability values. This **trend** of climate quitting adds to the industry's talent challenges.

「本文の第2、3段落は次のように要約できる。

石油・ガス会社は、深刻化する気候危機の中で評判が傷ついたため、新しい人材の獲得に苦勞している。多くの若者が気候への懸念から仕事を辞めている。英国では、Z世代の労働者の約半数が気候への懸念から仕事を辞めており、18~41歳の人の48%が、持続可能性に関する自らの価値観に合致する企業で働くためであれば、減給を受け入れるとしている。この気候への懸念から仕事を辞める傾向は、業界の人材獲得の課題をさらに悪化させている」

( ① )については、第3段落第1文(Oil and gas companies in particular **are finding it difficult** to attract new talent, in part because they have been losing credibility amid the growing climate crisis.)が根拠となる。その1文の意味は「特に石油・ガス会社は、深刻化する気候危機の中で信頼を失いつつあることもあり、新たな人材を引きつけるのが難しいと感じている」である。苦勞しているという意味をもつ語を選択すればよい。

( ② )については、第2、3段落というよりは、第1段落での climate quitting の説明が根拠となるが、強いて言えば、第2段落第1文(If you're considering **leaving your job** over climate concerns, you're not alone.)を根拠とすることができる。その1文の意味は「もしあなたが気候問題への懸念から仕事を辞めようと考えているならば、それはあなただけではない」である。本来 leave という動詞は、company といった会社組織を目的語として <leave one's company> といった表現で「仕事を辞める」ことを意味するが、ここでは job を目的語として用いられている。

( ③ )については、第2段落第2文(Half of Gen Z **employees** ~ in the UK have already resigned from a job due to a conflict in values.)が根拠となる。その1文の意味は「英国では、Z世代(1990年代後半から2010年代前半に生まれた人々)の従業員の半数が、価値観の不一致を理由にすでに仕事を辞めている」である。

( ④ )については、第2段落最終文(And 48% of people aged 18-41 say they are willing to take a **pay cut** to work for a company that aligns with their sustainability values.)が根拠となる。その1文の意味は「また、18~41歳の人の48%は、持続可能性の価値観に合致する企業で働くために給与が減っても構わないと答

えている」である。

( ⑤ )については、第 3 段落最終文(This **trend** of climate quitting only adds to the industry’s talent challenges.)が根拠となる。その 1 文の意味は「こうした環境問題による退職の傾向は、業界の人材不足の課題をさらに深刻化させている」である。 <add to ~> で「~を高める、増す、強める」という意味である。

3. [疑問文に対する解答としてふさわしい英文を選択する]

下線部(イ)の 1 文の意味は「では、気候への懸念から人々が仕事を辞める動機は何だろうか?」である。

- ア. 「彼らは家族ともっと時間を過ごしたいと考えている」
- イ. 「彼らは自分の給与に満足していない」
- ウ. 「彼らは自分のワーク・ライフ・バランスに満足していない」
- エ. 「彼らは、雇用主が気候危機の緊急性に対処していないと感じている」
- オ. 「彼らはもっと旅行をしたい」
- カ. 「彼らはさらなる研究のために学校に戻りたがっている」
- キ. 「彼らは自ら起業したいと思っている」

エ以外の選択肢には、それらを選ぶ根拠が本文には見当たらない。エに関しては、第 8 段落が根拠となる。その意味は「しかし、私たちのインタビュー回答者たちは、雇用主の行動や優先事項が、化石燃料への依存から脱却するという、この緊急性と一致していなかった、と報告している。中には、雇用主がこれらの警告を無視しており、以前の気候変動対策の約束を撤回する者さえいる、と報告する人もいた」である。これらの記述から、**climate quitting** をする動機として、雇用主の気候危機への取り組み不足を導くことができる。

4. [同義語句選択]

(1) 「“organization” という単語の意味は \_\_\_\_\_ である」

- ア. 「共通の目的のために協働する人々の集団」
- イ. 「一人で働く単体の個人」
- ウ. 「ある種の自然界における出来事」
- エ. 「金融投資」

organization [organization] とは「組織、機構、団体、協会」といった意味の単語である。

(2) 「“changing their own minds” という語句がおおよそ意味するのは \_\_\_\_\_ である」

- ア. 「新たな石油・ガス探査への投資しようという雇用主の決断」
- イ. 「石油会社を辞めるという従業員の決断」
- ウ. 「再生エネルギー開発に関与しようという雇用主の決断」
- エ. 「気候変動の懸念について考えるのをやめようという従業員の決断」

下線部を含む 1 文の意味は「研究によれば、気候問題を懸念する石油・ガス業界の従業員にとって、仕事を覚えるよりも自分の考えを変えることで価値観の矛盾を克服する方が簡単な場合が多いことが分かっている」である。ここで“changing their own minds” とは、気候変動への懸念から仕事をやめようという方向性とは真逆で、もうそんなことで思い悩むのはやめよう、と心持を改めることで、雇用主あるいは会社との価値観の矛盾を解決する、ということである。

(3) 「“this type of move” という語句に最も意味が近いのは \_\_\_\_\_ である」

- ア. 「同じ会社内で職種を変更すること」
- イ. 「化石燃料企業から再生エネルギー関連会社へ移行すること」
- ウ. 「全く異なる業界に進出すること」
- エ. 「再生エネルギー部門を離れること」

“this type of move” の指す箇所は、第 13 段落第 2、3 文である。それらの意味は「2022 年にエネルギー専門家 1 万人を対象に行われた調査では、回答者の 82%が今後 3 年以内に石油とガスからの転職を

検討すると回答した。回答者の半数は再生可能エネルギーへの移行を希望していると述べた」である。この内容をまとめたものがイである。

(4) 「“reconsider their business decisions” という語句に最も意味が近いのは \_\_\_\_\_ である」

ア. 「現在のビジネス慣行を継続する」

イ. 「新たな石油とガスの探査へと関心を移行させる」

ウ. 「気候問題を考慮してビジネスへの取り組み方について反省し、変更する可能性がある」

エ. 「気候に関連した問題を無視し、収益性に集中する」

下線部を含む1文の意味は「石油・ガス会社は、従業員の気候危機に対する懸念や仕事における価値観の一致の追求を受けて、ビジネス上の決断を最終的に再考する時期に来ているのかもしれない」である。現状のままの態度では、新たな人材をひきつけることができないわけであり、企業側が指をくわえて何もしないとは考えにくく、「気候問題を考慮した新たなビジネスモデルを考案していく」ことを模索すると予想できる。

## II 長文総合

### 1. [下線部和訳]

(1) 和訳すべき1文の構造を確認する。

About 40% of the approximately 6,700 languages (spoken across the globe today) are <very> close <to a

s

v

c

dangerous situation of extinction>.

構造としては、述語動詞が are であると気づけば、SVC という第2文型の文構造を把握できる。表現面では、まず “a dangerous situation of extinction” を「絶滅という危機的状況」のように「絶滅」＝「危機的状況」の同格関係で訳さないようにしたい。というのも、日本語で「危機(的状況)」というのは「悪い結果をもたらすかもしれない危険な状態」のことだが、「絶滅」というのは「悪い結果」そのものなので、「絶滅」＝「危機的状況」という同格関係は成立しないからだ。これを避けるには、「絶滅につながりかねない危機的状況」、「絶滅の恐れがある状況」などと表現する必要がある。これを <be close to ~> 「～に近い」という表現と合わせると、「絶滅に極めて近い状況にある / 絶滅の危機に瀕している」などと表現できる。

### 2. [文中空所補充]

空所に正解を入れた状態の本文とその和訳は以下の通り。

Research and Planning: The Foundation of Impactful Travel

When traveling to a destination with an endangered language, it's important to understand the history and current status of the language, as well as the factors contributing to its endangerment. Do some research before embarking on your journey. Websites, academic articles, and even social media groups dedicated to language preservation can be excellent resources for this preparatory work. On top of that, you should know basic phrases in the endangered language.

「調査と計画が心に残る旅行の下準備となる

危機に瀕した言語が使われている目的地へと旅するとき、それを危険にさらすのを助長する要因だけではなく、言語の歴史と現状を理解するのが重要だ。あなたが旅行に乗り出す前に、調査をなさい。言語の保護をテーマとしたウェブサイト、学術論文、そしてソーシャルメディアのグループでさえ、この準備作業のための優れた情報源となりうる。それに加えて、その危機に瀕した言語で使われる基本表現を知るべきだ」

( ① )は、“it’s important to ( ① ) the history and current status of the language” という前後の形から、to と共に不定詞を作る他動詞の原形を選ぶと判断する。選択肢の中でこの条件に該当するのは、キ. litter 「～を散らかす」、ケ. journey 「～を旅行する」、シ. transform 「～を変形させる」、ソ. understand 「～を理解する」の4つである。この中から、ソ. understand を入れると「言語の歴史と現状を理解するのが重要だ」となり文意が通る。

( ② )は、“the factors ( ② ) to its endangerment” という前後の形から、the factor を修飾する形容詞であり、前置詞 to とのコロケーションが成立する イ. contributing を選ぶと、「それを危険にさらすのを助長する要因」となり文意も通る。

( ③ )は、直前が your という所有格であることから名詞だと判断する。またこの第3段落の見出しが“Research and Planning: The Foundation of Impactful Travel” 「調査と計画が心に残る旅行の下準備となる」とあることから、ケ. journey 「旅行」を選ぶ。そうすると、“Do some research before embarking on your journey.” 「あなたが旅行に乗り出す前に、調査をなさい」という内容から、となり見出しとも内容が合う。

( ④ )は、直前が excellent という形容詞であることから名詞だと判断する。また、SVC という第2文型であることから、“Websites, academic articles, and even social media groups dedicated to language preservation” 「言語の保護をテーマとしたウェブサイト、学術論文、そしてソーシャルメディアのグループでさえ」とイコールの関係が成立するよう、ス. resources を選ぶ。そうすると、“Websites, academic articles, and even social media groups dedicated to language preservation can be excellent resources for this preparatory work.” 「言語の保護をテーマとしたウェブサイト、学術論文、そしてソーシャルメディアのグループでさえ、この準備作業のための優れた情報源となりうる」となり文意も通る。

( ⑤ )は、直前が “the endangered ( ⑤ )” と冠詞を含む表現であることから名詞だと判断する。同じ第3段落第1文に “an endangered language” という表現があり、コ. language が入ると予想される。そうすると、“On top of that, you should know basic phrases in the endangered language.” 「それに加えて、その危機に瀕した言語で使われる基本表現を知るべきだ」となり文意も通る。

### 3. [下線部和訳]

(2) 和訳すべき1文の構造を確認する。

You gain insight (into the language) <within its cultural context> <by living <with host families> , eating local  
S V O [V] [V]  
cuisine,  and participating <in day-to-day activities>.<.>  
[O] [V]

構造としては、前置詞 by の目的語には動名詞句が3つ並んでいることに気がつく必要がある。表現としては、<gain insight into ~> 「～に関する知見を得る / ~の理解を深める」、cuisine 「料理」、<participate in ~> 「～に参加する」、day-to-day 「日々の、日常の」などの表現に気をつけたい。

### 4. [文中空所補充]

空所に正解を入れた状態の本文とその和訳は以下の通り。

Establishing ongoing communication with the communities you visited ensures that the efforts to preserve and revitalize these languages extend far beyond the initial visit. You can do this through regular updates via email, social media, or even traditional mail. Such continuous engagement shows genuine interest and commitment to the language and its speakers. It also provides opportunities to share resources, support local projects, and stay informed about the community’s needs and achievements.

「訪れた共同体との継続的なコミュニケーションを確立することで、これらの言語を保護し生き返らせるための努力は、最初の訪問をはるかに超えて広がりを持つことが保証される。電子メール、ソーシャ

ルメディア、さらには従来の郵便物による定期的な更新を通してこれを行うことができる。そのような継続的な関与は、言語とその話者に対する真の関心と傾倒を示している。それはまた、情報源を共有し、地元の事業を支援し、共同体のニーズや成果を知っておく機会も提供する」

- ( ⑥ )については、you を主語とし、“the communities” を目的語とする他動詞が入る。  
 ( ⑦ )については、you を主語とし、this を目的語とする他動詞の原形が入る。  
 ( ⑧ )と( ⑨ )については、“Such continuous engagement” = It を主語とする他動詞の現在形が入る。主語が単数形なので、それぞれに provides または shows のいずれかが入ることがわかる。  
 ( ⑩ )については、“share ~, ( ⑩ )~, and stay ~” という並列関係があるので、空所には他動詞の原形が入ることがわかる。

5. [見出し挿入]

正解の選択肢 Spread the Word: Sharing Your Experiences の意味は「あなたの経験を共有し、言葉を行き渡らせる」である。第7段落第1文では、訪れた共同体についての話を共有することで、言語の保存に参加することが奨励されており、続く第2文以降では、その具体的方策が述べられている。つまりこの段落では、旅行者が訪れた場所で経験したことを発信して、世界中の人々と共有することで、その共同体で用いられている言語の持つ細かなニュアンスや美しさを広めることが求められている。よってこの段落の見出しは、以上の内容に合致するイが該当する。

6. [語句整序]

- (B) (Our) **travel choices can contribute to preserving** (cultural and linguistic diversity worldwide.)  
 (C) (Encouraging) **others to consider their travel choices** (in this light amplifies the potential impact, ~)

III

和文英訳

- (1) 「1800年当時」 in 1800/ in the year 1800 / at the time of 1800 / around 1800 など。  
 「世界人口」 the world’s population / world population / inhabitants of the world / the total number of people in the world など。  
 「都市に住んでいた」 lived in cities / lived in towns / lived in urban areas / inhabited urban areas など。  
 「2%にも満たなかった」 less than two percent / less than 2 % / under two percent など。
- (2) 「しかし」 however / but など。  
 「2016年の調査では～」 a 2016 survey found that ~ / in a 2016 study, ~ / according to the 2016 survey, ~ など。  
 「人口が100万人以上の都市が512あり」  
 512 cities had more than one million residents / there were 512 cities with populations (of) over one million など。  
 「そのうち45都市は～」 including 45 cities ~ / ..., 45 of which ~ など。  
 「～は人口が500万人を超えていた」  
 ~ with over five million residents / ~ had a population of more than 5 million / ~’s populations exceeded five million など。
- (3) 「より多くの人々が～」 more (and more) people ~ / the number of people who ~ has increased など。  
 「～ようになってきている」  
 be coming to ~ / have come to ~ / be doing~ など。  
 「～という…な変化」 a ... shift(,) where ~ / a ... shift(,) with ~ / a ... change that ~ / a ... change of ~ など。  
 「本質的な」 fundamental / essential / substantial など。  
 「～を表している」 indicates / represents / means など。

講評

- I [長文総合] (やや易) 「Climate quitting を選択する人々への調査」に関する英文。英文そのものは読み易く、特に悩むところはない。要約英文完成問題では、workers と employers という立場の違いに気を付ける。
- II [長文総合] (やや易) 「絶滅が危惧される言語を旅行によって救うという考え」に関する英文。空所補充問題では、時制や三単現の s の有無なども手掛かりに候補を消す作業が必要。前期と違い語形変化は含まれていない。
- III [英訳] (標準) 「都市化の進展と人口変化の歴史的傾向」に関する英訳。数字などデータに関する表現を正確に書くことができれば、訳出に苦勞するところはない。

大問構成は例年通り 3 題だが、2025 年度前期からさらに設問内容に変化が見られた。内容一致問題や説明問題は姿を消し、記述量は減少傾向にあるとはいえ、それなりに差がつきやすいと思われる。全体としてはやや易化。目標は 70%

**メルマガ無料登録で全教科配信！** 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校</p> <h1 style="font-size: 2em;">メビオ</h1> <p>☎0120-146-156 <a href="https://www.mebio.co.jp/">https://www.mebio.co.jp/</a></p>	<p>医学部専門予備校</p>  <p>heart of medicine <b>YMS</b></p> <p>医学部専門予備校</p> <p><b>英進館メビオ</b> 福岡校</p>	<p>☎03-3370-0410</p> <p><a href="https://yms.ne.jp/">https://yms.ne.jp/</a></p> <p>☎0120-192-215</p> <p><a href="https://www.mebio-eishinkan.com/">https://www.mebio-eishinkan.com/</a></p>	 <p>登録はこちらから</p>
---	--	---	---

## 2泊3日無料体験

寮・授業・食堂を無料で体験

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
1日目							面接・入寮				学力診断テスト(英語)	夕食	学力診断テスト(数学)	学力診断テスト(適性)
2日目	朝食	授業(数学)	授業(英語)	昼食	授業(理科1)	授業(理科2)	自習室で課題演習(質問可)	夕食	自習室で課題演習(質問可)					
3日目	朝食	課題提出テスト	授業(数学)	課題提出テスト	授業(英語)	昼食	面接・学習アドバイス							

無料体験期間 3/16(日)~3/18(火)  
3/23(日)~3/25(火)

詳細やお申込はこちらから



詳しくはこちら